

ひろまちだより

Hiromachi Ryokuchi Park in City of Kamakura

contents

特集	アズマヒキガエル
連載	樹木区日誌
催事	里山さんぽ etc
ほか	新型コロナウイルス対応

ぽかぽかしてきたね



水路の脇に咲いたレンゲソウ(上)セリに産みつけられたキアゲハの卵(左下)御所谷の湿地に生えていたスギナ*(右下)
*スギナはシダの仲間て胞子を出す茎はつくしと呼ばれる



御所川沿いをのしと横断するアズマヒキガエル

ひろまちだより 2020年3月号

発行 鎌倉広町パートナーズ

鎌倉広町緑地管理事務所
鎌倉市津 1133 TEL : 0467-32-5112
<http://www.kamakurahiromachi.com/>



デザイン・編集 向田智也



もずくのように群れる
アズマヒキガエルのおたまじゃくし。
おたがいに体温を高めて過ごしなが
ら、上陸するタイミングを合わせているとも考えられている。

自分が生まれた池にもどってくるアズマヒキガエル

Eastern-Japanese Common Toad return to the pond where they were born

春、地中の温度が上がってくると、アズマヒキガエルは落ち葉や土の中からはい出して水辺を目指します。アズマヒキガエルは、においで自分の生まれた池を覚えているといわれ、個体が多い池では、オスがメスをめぐって争う「蛙合戦」の光景が見られることがあります。



カエル池付近の茂みにいたペア

ひも状の卵塊は最大20m!



①



②

①ひとつの卵塊には1500~14000個の卵が入っている。②卵から孵化したオタマジャクシや変態したばかりの幼体は非常に小さい。初夏~梅雨に上陸した子ガエルは、その年の秋までに約6倍の大きさに急速に成長し、成体は大きいものだと16cmほどになる。

ウッディぴろしの樹木区日誌



Vol.4
キブシ
(キブシ科)

広町緑地の尾根をヤマザクラがピンク色に染める直前、早春を彩る花木のひとつがキブシです。御所川など、日当たりのよい沢沿いを中心に、淡黄色のつば型の花が房状にぶら下がり開花します。樹高は4~5m(最大7mほど)で、多くの植物が芽吹く前なので、よく目立ちます。

雌雄異株という雌と雄が別の個体(株)で、雄株には雄花が、雌株には雌花がつきます。花の形態の違いが観察できるのもこの時期だけの特権です。秋には房状の実がつき、昔は五倍子と呼ばれる染料の代用品でした。



キブシは、初めに花が咲き、後から葉が出てくる



雌花の中の黄緑色の雌しべ



雄花の中の黄色い雄しべ

イベント情報

初夏のイベントとして、春の植物観察会(4月)、大桐と藤の鑑賞会(5月)、植樹祭(5月)、田植え祭(6月)を予定していますが、新型コロナウイルス感染症の対応により、4月5月の行事は中止となりました。6月以降の行事については現在のところ開催未定です。開催はホームページ、ポスター等によりお知らせいたします。詳細は、管理事務所までお問い合わせください。

管理事務所よりお知らせ

昨年秋の台風被害により、一部園路の通行止めが続いていましたが4月より全面通行可能となりました。現在、新型コロナウイルス感染症の対応から、学習室の利用が制限されてます。詳細は、管理事務所までお問い合わせください。